

第 3 回糸魚川市地域公共交通協議会

【日時及び会場】

平成 29 年 11 月 30 日（木）13：30～15：15

糸魚川市民会館 3 階会議室

【出席委員】

織田義夫委員、松澤和彦委員、田村治委員（代理出席）、塚田二郎委員、渡辺郁子委員、猪又直登委員、間嶋善孝委員、岩谷忍委員、小野仁司委員（代理出席）、池田政幸委員、高橋聡委員、矢島トミエ委員、平内芳美委員、古畠敏枝委員、斉藤ミチヨ委員、本間充佳委員、小松美保子委員、高橋優委員（代理出席）、滝川一夫委員、木下耕造委員以上 20 名

【会議の概要】

1 開会

- ・建設課長の進行で 13：30 開会

2 挨拶

- ・会長（糸魚川市副市長）による挨拶

<会議成立報告>

委員出席状況は、26 名中、20 名出席。協議会規約第 9 条第 2 項に規定する過半数を超えているため、本会議の成立要件を満たしている旨を報告。

3 報告

- ・議事進行は建設課長

- (1) 糸魚川市地域公共交通協議会委員の交代について
質問・意見なし。

4 議事

- ・議事進行は会長（糸魚川市副市長）

- (1) (仮称) 地域公共交通再編実施計画のうちバス路線の再編案について
(質問・意見)

委員：【2～3 頁 1 能生青海線、2 おうみ巡回線、3 青海通り線】について、能生青海線は国道がルートとなっているが、須沢地区では区画整理後は人口がかなり増えてきたこともあり、おうみ巡回線と同じように、国道から須沢地区内を経由するルートを検討してもらえればと思う。おうみ巡回線は残しつつ、能生青海線も姫川沿いまで迂回するようなルートの検討をお願いしたい。

事務局：ご意見を携えて、地元の皆さんと協議を進めていきたい。

委員：路線全般に関してとなるが、例えば【6～7 頁 5 根知線】で、前回の

説明ではスクールバス廃止については地域で合意が図られているという報告であったが、学校関係者や保護者との合意は得ているのか、その辺りの状況を確認したい。

事務局：糸魚川中学校スクールバスの廃止に関する学校関係者や保護者との協議に関しては、小学校のPTAの役員や中学校の保護者の方々にも地元からお声がけいただき、地区意見交換会に参加いただいた中で、合意が得られたものである。学校に対しては、教育委員会職員とともに、糸魚川中、能生中と協議を行い、調整を進めているところである。

委員：例えば【4～5頁 4今井線】の再編案では、運行車両を通学通勤時間帯も生活時間帯も小型化することが前提となっているが、その前提が崩れると再編が進まないことになることから、車両の購入計画が重要である。その点について、計画的に進めていくことになっているのか、お知らせいただきたい。

事務局：小型車両の運行により可能となる再編ルートもあり、再編の実施・推進には、車両購入計画が重要と考えるが、あくまでも車両を購入・維持管理するのはバス事業者様であり、バス事業者様による計画的な購入と、そのための更新計画が非常に重要である。行政からは車両購入、運行費用に対して補助を行っていく。

委員（バス事業者）：バス事業者として、小型車両の購入予定についてお知らせする。平成31年度（補助年度）に2両を購入する予定である。

委員：【6～7頁 5根知線】について、高齢者の代表として出席しているが、西と東に分かれているルート的一本化、また根知駅との接続を地元がお願いしてきた、それが上手く実現されているように思う。よく地域を回っていただいているし、駅の接続も十分であり、とても助かると思う。もう一つ欲を言わせてもらえるならば、農業資材等を購入する機会も多いので、コメリやマックス等を回るルートをお願いしたいと思う。

事務局：生活時間帯においては、美山公園下から国道148号をそのまま北上するルートを組み合わせることができれば、コメリ等での買い物やこれまで通りの通院のニーズをカバーできるルートになるのではないかと内々に検討を行っていたところである。いただいた意見をもとに検討した結果を、根知地区意見交換会でお諮りしたい。

委員：【14～15頁 10美山公園・博物館線】について、一般生活路線とは違う政策路線であると説明があったが、観光振興や交流人口を拡大するうえでは、財政的に大変だと思うが、路線があるだけで大きな意義があると考えており、観光に携わる者としてはありがたく思っている。乗車率がとても低いのは事実であるが、必ず一日一人は利用者がいる。駅からアクセスできるということがとても重要である。中心市街地の巡回線と合わせて利用される観光客もおられる。減便もやむを得ない面があるが、観光客が使いやすい効率のよいダイヤの編成を検討していただきたいと思う。

委員：【22～23頁 16仙納線】について、要望となるが、生活もしくは通学ということであるが、将来的に観光利用も含めて、まちづくりの観点から人をどう誘導していくのが重要であり、公共交通は重要な要素

だと思う。その中で、磯部地区において、筒石駅は生活者の交通拠点であり、またユニークな駅で観光客も見られるが、アクセスが相当悪い状況にある。将来的に交通網を繋ぎ鉄道を活かしていく上で、この筒石駅も一つのきっかけになるのではないかと思う。

事務局：特に高齢者の移動手段を考えると、駅舎の階段がネックになっていると聞いている。能生駅も階段があるが、特に筒石駅は大変だと聞いている。それとアクセス道路に関しても、大型バスの乗り入れが厳しい状況であることから、現在の案では線を結んでいないが、ご意見を踏まえて今後検討していきたいと思う。

委員：全体を通して、再編が上手くいくかどうかについては、市街地巡回線や(仮)中央線との接続にかかっていると思う。青海、梶屋敷、西海、根知などの全ての方面から、この市街地巡回線と上手く接続するダイヤを編成してもらえればと思う。これが上手くいかない、再編案に対して不満が出ることになるかと思う。

事務局：ご意見を参考として、バス事業者様とも協議を進めていきたい。

委員：全体を通して、病院や駅をハブとしていることから、相互に乗り入れている路線のダイヤ編成に注意する必要がある。観光面に関しては、青海以西におけるコミュニティバスの確保、能生地域でのマリンドリームへの足など、ときめき鉄道のダイヤ編成に応じて、バスのダイヤ編成を検討いただき、観光客が移動する手段が一つでも増えることが望まれる。公共交通のダイヤをよく調べた上で、観光に訪れる方が必ずいるので、工夫をしていただければと思う。

事務局：ご指導をお願いしたいと思う。

(決議) 原案のとおり承認。

(2) その他

なし。

5 その他

●事務局からの報告・連絡事項2件

(1) 地区意見交換会の3巡目の実施について

(2) 次回(第4回)協議会の開催について

2月22日(木)、13:30～、市民会館会議室での開催を予定

(質問・意見)

質問・意見なし。

6 閉会

(15:15 終了)